

人とペットの災害対策

◎飼い主がペットのためにすべき備え

・人間の備蓄品と同様に、ペット用品の備蓄をしておく
(下記の備蓄品リストを参照)

- ・ケージやキャリーバッグの中に入ることに慣らす
- ・人や他の動物を怖がったり攻撃的にならないようにする
- ・普段から首輪をして、鑑札や迷子札を付けておく
- ・各種ワクチンの接種と寄生虫の予防、駆除
- ・決められた場所で排泄ができるようにする
- ・体のどこでも触れるようにしておく

※この他に犬の場合は、「待て」「おいで」「お座り」「伏せ」などの基本的なしつけが出来ていると、いざという時にも飼い主の言うことを聞くようになります。



◎災害がおきたら

突然の災害でペットもパニックになり、興奮状態になることがあります。咬まれたりしないよう注意しましょう。

また、飼い主の動揺はペットにも伝わります。落ち着いて、普段通りの声かけをするなど、ペットを落ち着かせるよう努めてください。



◎避難指示があった時や自主避難する時

ペットと一緒に同行避難をしてください。旭川市は全ての避難所で同行避難が可能です。

しかし、盲導犬等を除くペットは、他の避難者に配慮し、建物内ではなく、グラウンドや倉庫が飼育場所となりますので、備えにもある通り、ケージやキャリーに入れるように慣らしておきましょう。



☆備蓄品リスト

【優先順位1】

命や健康に関わるもの

- 薬、療法食
災害時には手に入りにくくなります。
- フード、水
支援物資が届くまで、5日分以上、できれば7日分以上用意しておくといいでしょう。
- 予備の食器、リード(伸びないもの)

【優先順位2】

ペット用品

- ペットシート(猫はトイレ用の砂)
- 排泄物の処理用具
- タオルやブラン
- 予備のリードや首輪

【優先順位3】

飼い主や動物の情報

- 動物の写真
迷子になった時にポスターを作ったりするために使えます。
- 動物の飼育記録や飼育手帳
持病やかかりつけの動物病院、食事の量や回数、ワクチンの接種歴などを記録しておいたものがあれば、一時預かりをお願いする際などにスムーズに情報が伝えられます。



最も大切なことは、

まずは人の身の安全を確保をすることです。

飼い主が無事だからペットを守れるということを忘れないようにしましょう。

